

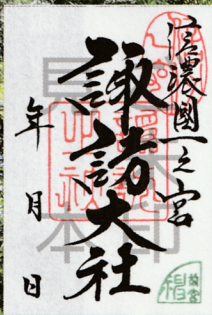
諏訪に鎮座する神々を巡る

信濃國一之宮 諏訪大社

四社まわり

諏訪大社四社（前宮・本宮・春宮・秋宮）で御朱印をお受けになった方に、参拝の記念品をお渡ししております。





現在の本殿は、昭和7年に神宮式年遷宮の折、
下賜された古材をもって建てられたものです。

まえみや
上社前宮



神体山を拝するための独特な社殿配置が特徴です。
また、式年造営御柱大祭の際に建替える宝殿を
間近で拝することができます。

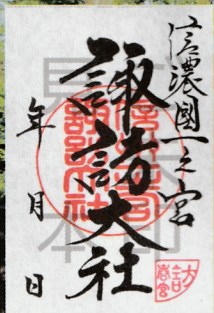
ほんみや
上社本宮 (重要文化財)



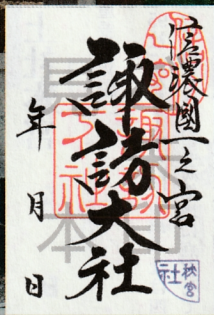
幣殿・拝殿・左右片拝殿・脇片拝殿、天保9年(1838)、四脚門、慶長13年(1608)

はるみや
下社春宮 (重要文化財)

社殿には、大隅流宮大工たちの手により
獅子、鶏、竹、龍などの見事な彫刻が施されています。
境内西方を流れる低川に浮かぶ浮島は、
どんな大水にも沈まないといわれています。



幣拝殿・左右片拝殿、安永9年(1780)



※各社の朱印は見本です

あきみや
下社秋宮 (重要文化財)

大きな注連縄をつけた神楽殿と青銅製では日本最大といわれる狛犬が目をはきます。

幣拝殿・左右片拝殿 安永10年(1781) 神楽殿 天保6年(1835)

信濃國一之宮 諏訪大社 上社本宮

摂社末社遙拝所／大国主社

(重要文化財)

1828年(文政11年)建立。上社に特に関係の深い摂社や末社の神号殿で、上の13所、中の13所、下の13所で合計39社の御名を掲げてあり、昔は十三所遙拝所とも言いました。現在大社の摂末社は神社関係が42社、下社関係は27社あり、明治以降独立した関係摂末社まで合わせるとその数

は95社に及びます。関係摂末社は四社の境内をはじめ諏訪地域に点在しておりますが、その摂末社を朝夕こちらで遙拝します。

遙拝所の隣のお社は、大国主神をお祀りしております。

例祭月／5月14日



大国さま(大国主命)は
お諏訪さま(建御名方神)の御父神です。

※各社の朱印は見本です。

信濃國一之宮 諏訪大社 下社秋宮

恵比寿社

秋宮恵比寿社は諏訪大神の御父神
大國主神と御兄事代主大神を御祀り
申し上げております。この二柱の大神
は農漁業の開祭・商工業の発展に誠に
あらたかな神様であり又家繁栄の守
護神として世に福の神大國様、恵比
寿様と其の御神徳を称え申し上げて
殊に諏訪大神と非常にご縁の深い神様

でありますので御本社出雲大社及美
保神社からはるばる御分霊を御受けい
たしまして昭和23年11月20日御鎮座
祭をいたし当大社の末社として奉斎し
ております。

祭日 月次祭／毎月20日、春季例大祭
／4月20日、秋季例大祭／11月20日



恵比寿さまは(八重事代主神)は
お諏訪さまの御兄神です。



信濃國一之宮 諏訪大社

由緒略誌

御祭神

建御名方神 (たけみなかたのかみ 男神)

八坂刀売神 (やさかとめのかみ 妃神)

八重事代主神 (やえことしろぬし 配祀・兄神) 手社のみ

諏訪大社は上社(前宮・本宮)と下社(春宮・秋宮)の二社四宮からなり、創建は古く、古事記の国譲りの神話にまでさかのぼる我が国最古の神社の一つです。本殿を持たず、自然そのもの(上社は神体山(守屋山)、下社は御神木(春宮は杉・秋宮はイチイ)を御神体とする古い信仰の形を現在に伝えています。

御祭神建御名方神は、往古より水と風を司り、信濃國を開拓された力の強い神様であることから、農業・狩猟・航海・勝負の守り神として信仰されています。また、大国主神の御子神であり、ご夫婦でお祀りされていることから、縁結び・子授け・安産・家内安全にご利益があります。商売繁盛・厄除けなどの祈祷も行われる広大な御神徳の神様です。

祭事

●恒例の大祭

◆上社例祭並御頭祭(西の祭) とりまつり 四月十五日
上社第一の祭儀で、古くは三月酉の日に行われたので、酉の祭とも呼びま

す。本宮での例大祭の後、行列を整えて神輿を前宮十間廊に安置し、御杖柱の幣帛・鹿の頭・鳥獣魚類等の特殊な神饌をお供えして大祭が行われます。

◆下社遷座祭 二月一日

◆下社例祭並遷座祭(お舟祭) ふねまつり 八月一日
春耕にさきがけて神霊が秋宮より春宮に遷られます。

八月、春宮にお遷しされた御霊代を、再び秋宮へお遷しする遷座祭に引き続き、例大祭が行われます。この遷座の行列の供奉として、青柴で造った大きなお舟に翁と嬭の人形を乗せ、氏子達が曳き付けます。神事相撲があり、翁嬭の人形は焚き上げられます。

●特殊神事

◆蛙狩神事と御頭御占神事 かわずがりしんじ おんとうみうらしんじ

(元旦 上社本宮)

◆田遊神事 たあそびしんじ (一月十五日 上社本宮)

◆筒粥神事 つつがゆしんじ (一月十五日 下社春宮)

◆御田植祭 (六月第一日曜日 上社)

◆御田植神事 (六月三十日 下社御作田社)

◆御射山社祭 みさやましんじ (八月二十六七八日上社下社)

◆式年造営御柱大祭 しきねんぞうえいみはしらたいさい (寅・申の年、とらひ 上社)

四月山出し、五月里曳き・下社宝殿遷座祭、六月上社宝殿遷座祭)

諏訪大社の特筆すべき大祭で、宝殿を造営し、神域の四隅に「おんばしら」と呼ぶ巨木を曳建てます。起源



御柱祭 川越し



御柱祭 木落し



上：御頭祭
下：お舟祭り



筒粥神事

御神紋

梶の葉（かじのは）

— 足の数は上社四本、

下社五本の区別がある —



下 社

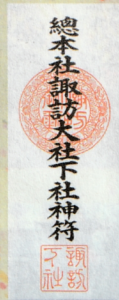


上 社

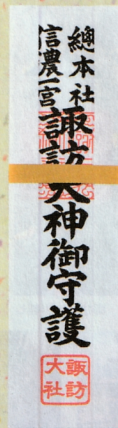
は遠く古代に遡りますが、平安時代
桓武天皇かんむてんのうの御代からは、信濃国の国司
により奉仕されました。費用や材料
の調達のために元服や婚礼、家屋の新
築が禁じられたこともあります。諏
訪圏全域二十万人の氏子の奉仕によっ
て盛大に行われます。

信濃國一之宮 諏訪大社 授与品

下社でのみお頒けしています。

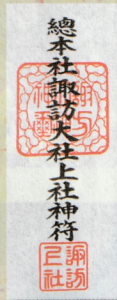


しもしゃしんぶ
下社神符

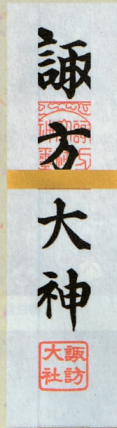


とくまつ
特札

上社でのみお頒けしています。



かみしゃしんぶ
上社神符



おおみだ
大札

諏訪大社上社下社それぞれの神札です
家内安全・商売繁盛など様々な願いを込めて神棚にお祀りします。

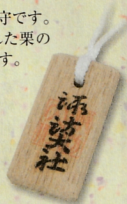


かいうんすずまり
開運鈴守

開運招福のお守です。鈴の音は、災いを祓い、清浄をもたらします。上社・下社それぞれの神紋が入ったお守をお頒けしています。

かちくりみだ
勝栗札

スポーツ選手必勝御守です。
神体山の神域で成長した栗の
木を使って奉製しています。



授与所受付時間

上社前宮：9時～16時半

上社本宮：8時半～17時

下社春宮：8時半～16時半

下社秋宮：8時半～17時



よんしゃまもり

四社守 (春宮守・秋宮守・前宮守・本宮守)

お諏訪様は四つのお社 四社の御神徳が貴方をお守護します。



はだみくすり
肌身袋守

健康祈願、諸願成就の御守です。
5色の中から好きな色をどうぞ。

上社

下社

上社でのみお頒けしています。

下社でのみお頒けしています。



あんざんしゃく
安産杓

安産祈願の縁起物です。水が抜けるように楽なお産になるよう、底が抜けています。子安社に奉納し、産まれてくる子の健康を祈ります。



おんばしらばし
御柱箸

御柱と同じモミの木で出来た健康祈願のお箸です。1膳のものと5膳入りのものがあります。

なまがまもり
薙鎌守

諏訪大神の神器「薙鎌」を模した特製のお守で、父神 大国主神の象徴「福俵」、母神 高志沼河比売神の「翡翠」、諏訪特産の「黒曜石」を組み合わせたものです。

諏訪大社四社まいりマップ



Suwa
Taisha
NAVI



スマートフォンアプリ
「Suwa Taisha NAVI」

諏訪大社内専用アプリ「Suwa Taisha NAVI」は、GPS連動の体験型アプリです。4言語【日本語、英語、フランス語、中国語（繁体）】に対応。

- 大社推奨ルート①
約16km 約35分
- 大社推奨ルート②
約12km 約30分



- ◆上社本宮／長野県諏訪市中洲宮山1
- ◆上社前宮／長野県茅野市宮川2030
- ◆下社秋宮／長野県諏訪郡下諏訪町5828
- ◆下社春宮／長野県諏訪郡下諏訪町193

TEL 0266-52-1919

TEL 0266-27-8035

諏訪大社
上社本宮 上社前宮

諏訪大社に関するさらに詳しい情報は、
こちらのQRコードよりご覧ください。

